

(資料2)

豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）（とよたしふじおかみんぞくしりょうかん（きゅうふじおかちゅうがっこうとくべつきょうしつとう））

員数：1棟

所在地：豊田市藤岡飯野町井ノ脇 401

所有者：豊田市

1 登録理由

豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）

戦後の学校建築物で、木造平屋建、キングポストトラスの小屋組、出窓・ガラス窓を用いた特別教室棟である。

（登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの）

2 概要

豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）

木造平屋建、棧瓦葺、建築面積 342 m²、建設年代 昭和 29 年／昭和 56 年増築、平成 26 年改修

豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）は、豊田市藤岡飯野町井ノ脇に位置し、現在は交流館・体育センター・中央児童館などとともに藤岡コミュニティ広場を構成する建物である。

旧藤岡中学校特別教室棟は、昭和 29（1954）年に西加茂郡藤岡村立藤岡中学校（現豊田市立藤岡中学校）の特別教室棟（理科室・調理室・裁縫室）として建てられた木造平屋建の校舎で、切妻造、棧瓦葺、小屋組はキングポストトラス¹を用いている。桁行 20 間、梁間 5 間、建築面積 342 m²で、棟を南北に通して建っている。北から理科室・理科準備室・調理室を配置し、その西側に幅 1 間の片廊下が付き、調理室の南に裁縫室を配置した。廊下北端の桁行 2 間は土間の昇降口で、かつては藤岡中学校本校舎と渡り廊下で繋がっていた。

外壁は、黒塗りの下見板張で、教室には外部に面して、腰壁上から天井下まで達する上下二段の出窓が設けられ、引違いガラス戸が入れられている。理科室・準備室の南半分の出窓には、手洗場も設けられていた。教室と廊下境の柱筋及び西面にも同様のガラス窓が設けられ、明るく開放的な実習空間が造られている。室内の壁は漆喰塗の真壁とし、床には小幅板を張り、天井は竿縁天井²から現在は板張りに張り替えられているが、小屋組は当初のキングポストトラスが残り、柱と梁の接合部には天井下に堅固な方杖³が備えられている。

当時、旧西加茂郡内では、このように充実した特別教室を持つ学校は珍しく、「村の誇り」であったという。また、この校舎は当時、青年学校や社会学級、婦人会講習、一般教養講習等、村民に広く開放され、村の生活文化の中心でもあった。

昭和 56（1981）年、藤岡中学校特別教室棟から豊田市藤岡民俗資料館へ用途が変更された際、裁縫室北端に幅 1 間の中廊下を東西に通し、その東に増築して玄関・ポーチと便所を新設した。裁縫室は会議室と管理室に改装され、調理室・準備室・理科室はそれぞれ第 1 から第 3 展示室となった。

また、平成8年に老朽化に伴う改修工事（塗装・雨樋修繕等）、同16年に屋根葺替の工事、同25・26年に耐震補強工事等を実施し、外壁を古写真や関係資料をもとに下見板張りに復元し、木製建具や窓下の横材修理、換気口の木製枠の修繕等、文化財修理に準じた仕様で行われている。

戦後の木造学校建築の代表例であり、当時最も充実した実験・実習設備を備えた特別教室棟として、教育史及び建築史において価値があり、歴史的建造物として貴重な遺構である。

また、現在は地域の歴史資料を展示する文化施設、生涯学習の場として活用、保存・管理がされている。

キングポストトラス¹：三角形を造って構造をなすトラスのうち、中央に真束と呼ばれる支柱の立っている形式。

さおぶちてんじょう

竿縁天井²：棹縁と呼ばれる細い材を並べ、その上に天井板を直交に載せた天井。

方杖³：柱と梁の取付け部に斜めに入れる部材。



豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）外観全景（東面）（豊田市教育委員会提供）



豊田市藤岡民俗資料館（旧藤岡中学校特別教室棟）内部西廊下（南端より北東方角）（豊田市教育委員会提供）